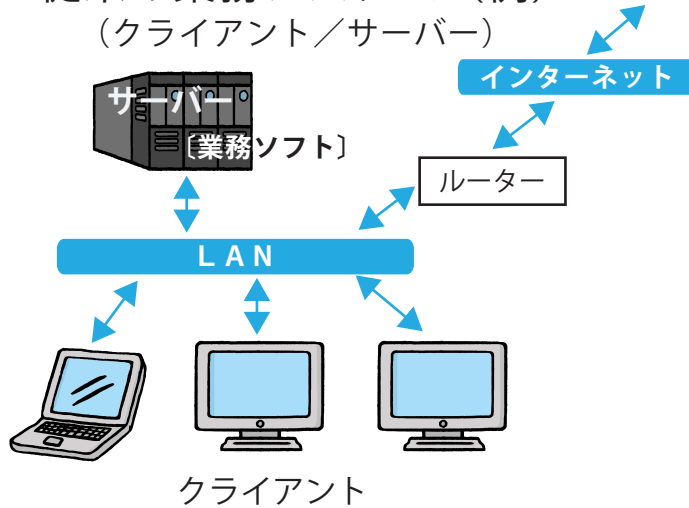




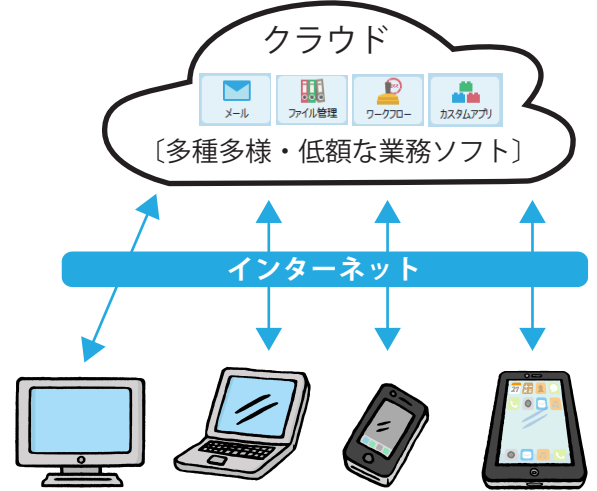
経営管理体制構築・維持・運用
定額コンサルティング・パッケージ

“所有” から “利用” へ

従来の業務システム (例)
(クライアント/サーバー)



クラウド業務システム



“所有” から “導入効果” へ

従来業務システムとクラウド業務システムの比較 (抜粋)

	従来の業務システム	クラウド業務システム
イニシャル・コスト (初期投資)	高額 ※業務ソフト・サーバー・セキュリティ等の費用	0円 ※提供会社とサービス内容によって差異あり
維持費	提供会社指定の 保守料	800円/人・月~ ※サイボウズ Office の場合
導入迄の期間	開発・カスタマイズや既存システム連携に多くの日数を要する (直ぐに使える い)	直ぐに使える
運用 (人員)	既存システムとの連携で新たな運用プロセスが発生し、 専門SEが必要	不要
機能	使いこなせない程の 多機能	必要な機能を取捨選択
ハード設備投資	業務システムに不可欠なハードの設備投資が発生する	クラウドのアプリ利用でハードの設備投資を抑えられる (タイムレコーダー・レジ等)

クラウド業務システムの導入効果 (抜粋)

- ☑仕事の「見える化」「仕組み化」によるクラウド業務改善の取り組みにより、固定費40%の削減!
- ☑既存システムのリプレイスに際し、初期投資600万円を0円化!
- ☑日中、パチンコ店やインターネットカフェで仕事をしない社員の一掃!
- ☑取引先と必要のない接待で社員が飲食するムダの一掃!
- ☑日当欲しさに無駄な出張を繰り返す悪習の一掃!
- ☑営業会議の短縮化と営業業績の向上の両立を実現!
- ☑担当者不在でも社内の書類を探す手間が大幅に削減!
- ☑営業担当替え後、前任者からのスムーズな引き継ぎ化 (引継ぎクレーム・ゼロ) !

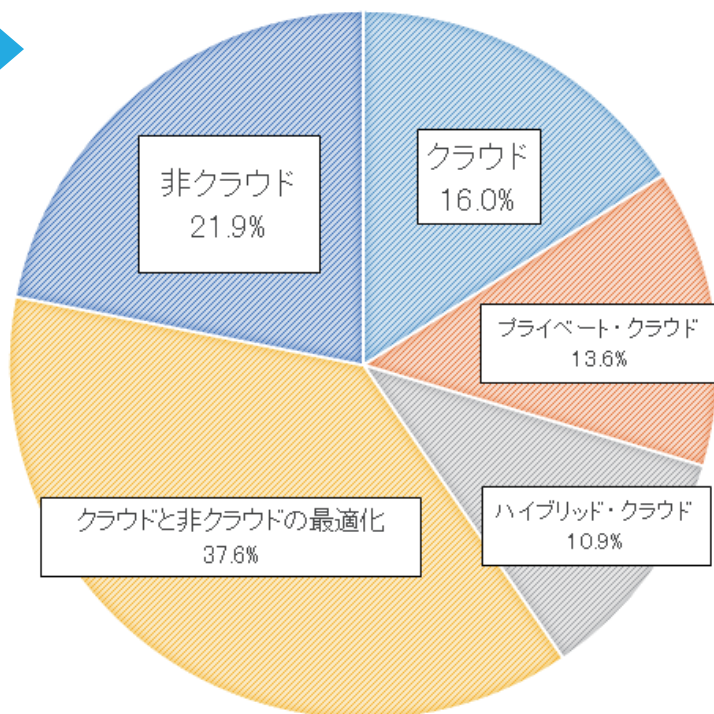


新規システムの構築方法の流れ

国内企業の8割が新規システム構築時に“クラウド”を検討！

新規システム構築方法時には、約80%の企業がクラウド利用を検討しています。その理由は表紙の通りで、「生産性向上・コスト削減・ビジネススピードの加速・競争力の強化・グローバル化」といったメリットを享受するための手段となっています。

一方で、クラウド活用によるメリットを享受できていない中小企業では、以下の2点の条件が揃っていないため、大手企業との収益差が拡大する重要な要因のひとつになっています。



〔出所：MM 総研 2014年11月10日〕

クラウド活用メリットを享受する条件

- ①社内で全社最適の業務改善を推進できるリーダーシップを発揮する社員がいること。
- ②クラウド・システムを取り扱うスキルを持ったSEがいること。

上記の条件を満たすために必要な能力・実績を兼ね備えた人材（全社最適業務改善担当社員・クラウドSEの2名）を採用すると、100万円/月の給料は下りません。会社負担経費を考慮すると、160万円/月以上のキャッシュアウトが発生してしまいます。そもそも、この水準の優秀人材は枯渇しており、採用費用もバカになりません。そして、この2名は日々の仕事で常時必要とされることはなく、実際に採用してみたものの、月の4/5以上は、他業務の補助をしているケースすらあるほどです。これでは、あまりにもムダが多すぎます。

そこで・・・



この「全社最適業務改善担当社員・クラウドSEの2名」の役割を私どもが担い、お客様のコスト削減・生産性向上に向けたご支援（月額10万円/月、消費税別）をスタートさせました。

当協会専門スタッフにお問い合わせ下さい！

相談・提案	無 料	2016年9月時点で、サイボウズOfficeやキントーン及び他の低額なクラウド（TeachmeBiz・PCA等）を活用した費用対効果の高い業務改善のご支援を行っています。
経営管理体制構築・維持・運用 定額コンサルティング・パッケージ	月額10万円 （消費税別）	

上記費用とは別に、クラウド会社のソフトウェア費用（例：サイボウズOfficeの場合、月額800円/人）が別途発生します。

お問い合わせ先

有限会社スパーク

〒541-0048

大阪府中央区瓦町4-3-14 御堂アーバンライフ806

TEL: 090-3825-9995